

## 4.5 景観

### 4.5.1 景観の調査結果

#### 1) 調査方法

##### (1) 主要な眺望点の状況

自然的構成要素からなる景観資源を眺望することができる主要な眺望点の状況を把握するため、文献調査及び現地調査により、主要な眺望点の分布及びその概要を調査した。

##### (2) 景観資源の状況

景観資源の状況を把握するため、文献調査により、眺望対象となる景観資源の分布及びその概要を調査した。

##### (3) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望点から景観資源を眺望する景観（以下、主要な眺望景観という）の変化を把握するため、現地調査により、主要な眺望点からその状況を調査した。

なお、現地調査では写真撮影を実施した。

#### 2) 調査地点・調査区域

##### (1) 主要な眺望点の状況

景観資源を望むことができ、不特定かつ多数の人が利用する眺望点のうち、ダム供用後にその眺望景観に変化があると考えられる眺望地点とし、「全国観光情報データベース CD-ROM（財団法人日本観光協会、平成12年3月）」及び「熊本百名山（熊本日日新聞社、平成10年12月）」を基に、国見山、榊形山及び仰烏帽子山の各山頂とした。

##### (2) 景観資源の状況

主要な眺望点から望むことができ、自然的構成要素からなる景観資源とし、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図（環境庁、平成元年）」に掲載されているもののうち、ダム供用後に、眺望景観に変化があると考えられる白髪岳、霧島屋久国立公園及び九州中央山地国定公園とした。

##### (3) 主要な眺望景観の状況

前述を踏まえ、国見山、榊形山及び仰烏帽子山の各山頂からの眺望景観とした  
（表 4.5.1-3、図 4.5.1-1）。

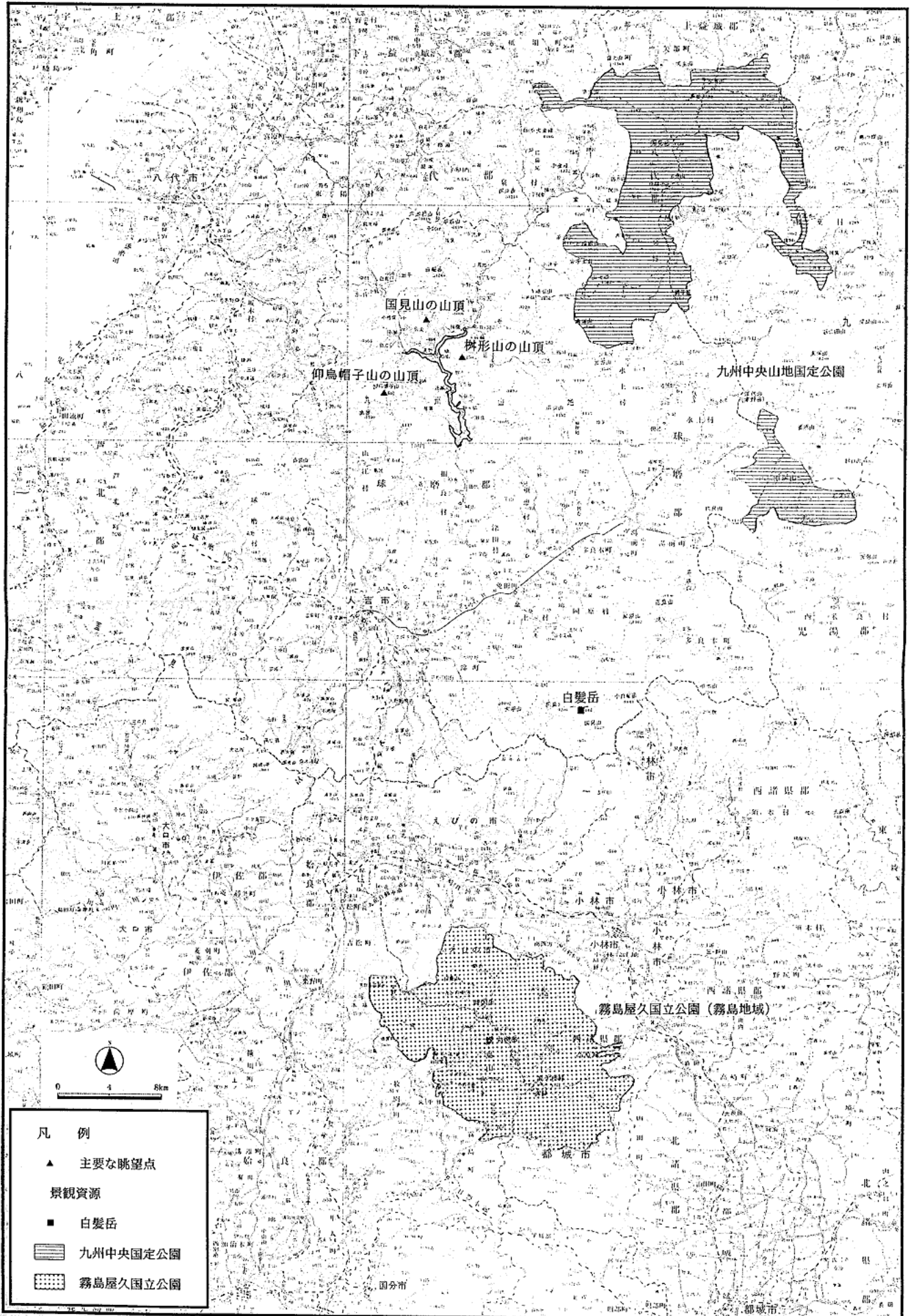


図 4.5.1-1 景観調査地点

### 3) 調査結果

#### (1) 主要な眺望点の状況

主要な眺望点の状況は、表 4.5.1-1 に示すとおりである。

表 4.5.1-1 主要な眺望点の状況

主要な眺望点	概要
国見山の山頂 (1,271m)	<p>国見山は、事業区域北側に位置し、川辺川の西を南北に連なる1,000mを超える山々の稜線の南端の突峰である。</p> <p>山麓は植林で占められるが、山頂は自然林が残り、ヒカゲノツツジ、ドウダンツツジ、アセビ、ネジキの灌木が多い。</p> <p>登山は、積雪の時期を除き通年で適している。山頂へは一番近くの登山口より20分程度で到達する。山頂は狭く南面から五木方向の展望がよい。</p>
榊形山の山頂 (1,085m)	<p>榊形山は、事業区域東側に位置し、五木村の真東にそびえる八原岳と対をなす双耳峰である。</p> <p>山頂へは一番近くの林道終点より15分程度で到達する。山頂は見通しが良く、周囲を展望できる。</p>
仰烏帽子山の山頂 (1,302m)	<p>仰烏帽子山は、事業区域西側に位置し、市房山、白髪岳と並ぶ球磨三山のひとつで、フクジュソウの自生地として非常に有名である。</p> <p>山頂一帯や谷筋には落葉樹林が残っているが、現在は伐採や植林が進み、土石流により荒れた山肌が剥き出しとなっている所もある。</p> <p>登山は、積雪の時期を除き通年で適している。山頂へは元井谷登山口より約2時間程度を要する。山頂は岩盤が露出し、球磨三山、霧島、雲仙が展望できる。</p>

## (2) 景観資源の状況

景観資源の状況は、表 4.5.1-2 に示すとおりである。

表 4.5.1-2 景観資源の状況

景観資源	概要
白髪岳(1,417m)	<p>球磨盆地の南、球磨郡上村に位置し、宮崎県との境をなしている。また、市房山、仰烏帽子山と並ぶ球磨三山のひとつである。</p> <p>白髪岳と猪ノ子伏を結ぶ稜線一帯 1,500 ha の国有林は、昭和 55 年に白髪岳自然環境保全地域に指定され、稜線部一帯はモミ、ツガ、ブナ林がみごとであり、これらの群生地としては日本の南限といわれている。</p>
霧島屋久国立公園	<p>鹿児島県と宮崎県にまたがる面積 54,833ha の九州最南端の国立公園である。</p> <p>昭和 9 年に我が国初の国立公園に指定された霧島地域と、昭和 39 年に追加指定された錦江湾地域及び屋久島地域に分かれている。</p> <p>霧島地域の中核にある霧島火山群は、最高峰の韓国岳(1,700m)を中心に高千穂峰(1,574m)など、大小 20 余りの火山が連なった複合火山である。</p>
九州中央山地国定公園	<p>熊本県と宮崎県の県境に位置し、五木五家荘、椎葉、市房山、綾北川、綾南川の中流部などを区域に包含する山岳地域を指定区域とする国定公園である。</p> <p>昭和 57 年に指定されている。</p> <p>国見岳(1,739m)、市房山(1,721m)など重畳として連なる山岳と深い谷が特徴となっている。</p>

(3) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観の状況は、「4.5.2 保全への取り組み (1) 景観への影響」の写真 4.5.2-1～写真 4.5.2-4 の現況写真に示すとおりである。なお、主要な眺望景観の概要を表 4.5.1-3 に示す。

表 4.5.1-3 主要な眺望景観の概要

調査地点		標高 (m)	眺望される景観資源	ダム供用により 眺望される要素
主要な眺望点	国見山の山頂	1,271	白髪岳 霧島屋久国立公園	貯水池、頭地代替地、付替道路
	榊形山の山頂	1,085	白髪岳 霧島屋久国立公園	貯水池、付替道路
	仰烏帽子山の山頂	1,302	白髪岳 九州中央山地国定公園	貯水池、原石山

注) 写真撮影は、35mm 版カメラにて 35mm レンズ (対角線画角 63 度) を使用した。